

オンライン・オーストラリア体験学習

オーストラリア体験学習プログラムは、成蹊学園創立100周年記念事業の一環として2010年に始めました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨今は海外渡航が制限されていますが、本プログラムはオンラインに形を変えて継続し、2年目を迎えました。

今年は春期(3月24日～26日)は20名・夏期(7月21日～23日)は19名の現6年生が参加し、オーストラリアの小学校 Caloundra Christian College (カランドラクリスチャンカレッジ)とオンライン上で交流しました。

新しい形での活動になりましたが、参加者の好奇心と熱意はこれまでと変わりません。また両校の児童だけでなく、家族ぐるみの交流ができること、現地に行かなくてもオーストラリアの小学校生活を体験できることが、オンラインプログラムの良さです。けやきホールにて行われた3日間の活動の中から、その一部をご紹介します。



学習の様子



算数・社会の授業

子どもたちは、カランドラ・クリスチャン・カレッジの6年生のマリッツ先生の授業に参加しました。それぞれ自分のパディと一緒に算数や社会の問題を解いていきました。算数の問題は、文章題が多く、小数や分数の計算も必要でしたが、前日の事前準備日に表現の練習をしていたことが役立ちました。社会のワークシートでは、それぞれの学校の歴史、所在地の特徴などの情報を交換しました。校舎内も案内してもらい、明るいキャンパスに感動していました。



理科の実験

理科の実験では、地震に強いタワーを建てる競争をしました。マスタンパーという免震装置を取り付け、振動をどれだけ吸収してくれるかを調べます。低層でがっちりした建物を作るオーストラリアの子どもたちと比べると、成蹊の子どもたちは高いタワーを作っていたのが印象的でした。優勝した成蹊のグループは、細く高く積み上げて、150センチのタワーを作りました。



Zoo Visit / Online Homestay

オーストラリアの動物園とZoomで繋がり、Zoo Rangerから、カンガルー、エミュー、ディンゴなどの動物の紹介があった後、子どもたちからの質問に答えていただきました。夜は、各家庭からオンラインで、ホストファミリーと繋がりました。この対面に向けて、日本文化の紹介パネルを作ったり、短い動画を作成して準備した児童もいました。日本の良さを遠くの人にオンラインで伝える。この力はこの先きっと役に立つでしょう。

参加者コメント



3日間のオーストラリア体験学習とても楽しかったです。Kahoot!でオリンピックスポーツのクイズができたり、パディと一緒に問題を解いたりしたのも楽しかったです!

3日しかなかったけど、とても楽しかったです!今度は本当にオーストラリアに行きたいです。

他の国の人と、英語で沢山会話をするのはとても大変だったけど楽しかったです。疲れたけどやっぱり楽しかったです。

オーストラリアに実際に行けなくて、はじめは残念だったけど、オンラインでつながれたことがとてもうれしかったです。

英語がすごく楽しく感じられた。面白かった。英語が伝わると嬉しかった。

ホームステイビジットで、私がバイオリンを弾いて、終わったらホストファミリーのみんなが「ワー!」って言ったり、拍手してくれたことが嬉しかった。

「Zoo Visit」では、知らなかった動物も知れたし、パディやホストファミリーに伝えられた時は、とても爽快感があったからよかった!またやりたいくらいです!算数も難しいかな...と思っていたけどできてすごくよかった。自信が持てた!!

Let's Read! ワークショップ

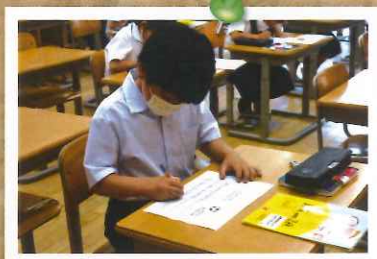
今年度再開したこのプログラムは、今年で6年目の国際教育センター主宰のワークショップです。

英語の文字と音のルールを意識しながら、英語の本を読んでいきます。

低学年は「英語の音・リズムに親しみながら音読を楽しむ」

中高学年は「自力で楽しく読む体験をする」ことを目標にしています。

昨年度は開講できませんでしたが、今年度は感染症対策をして楽しく行っています。



Don't be silly. を初めて知った。原作はこんなかんじなのかと思った。



前に国語で習った「おてがみ」を原作で読んでみて、日本語と少し違うと私は感じました。初めて知る言葉を覚えられてうれしかったです。

日本語で読むのと英語で読むのでは、とてもちがいました。初めて知った言葉がたくさんありました。



国際交流賞

国際教育センターでは毎年国際交流活動を積極的に行った児童を表彰しています。

昨年度は実施ができなかったため、今年度は「過去2年間の活動」を応募の対象期間とした作品を募集しました。

活動内容の分野は問わず、授業、自主的学習、文筆、芸術、スポーツ、ボランティアなど幅広く、個人、集団、地域活動などを通して行う「国際交流活動」で、成果をあげていると認められる作品に贈られます。

応募はすでに締め切られていて、受賞者は2学期中に発表予定です。ご期待ください！



おもしろい！
そういう文かとわかった。

